

しが「読み解く力」～実践編～ 【小学校/中学校 道徳科】

- 1 本時のねらい
- 2 本時の流れ
- 3 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 4 授業づくりのポイント
- 5 まとめ



【小学校/中学校：道徳科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

- ◇指導観（価値観・児童観(生徒観)・教材観) および「本時で児童(生徒)に考えさせたいこと」を明確に
もっているか。
- ◇切り返し発問、意図的指名、言語活動・板書の工夫等
によって児童(生徒)の考えを深めようとしているか。

- 1 本時のねらい
- 2 本時の流れ
- 3 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 4 授業づくりのポイント
- 5 まとめ

人種や国の違いをこえ、親愛の情をもって互いに温かい心で接したり、助け合ったりしようとする心情を育てる。

教材名：「雨森芳洲と真心のつきあい」
(滋賀県道徳教材「近江の心」(小学校版))

主題名：ちがいを認め、たがいを大切にする心
(C 国際理解、国際貢献)





- 1 本時のねらい
- 2 本時の流れ
- 3 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 4 授業づくりのポイント
- 5 まとめ

導入

1. 課題を見つけ、見通しをもつ

- ・ 本時の課題を考える。

2. 自分で考える

- ・ 発問に対して、自分の考えや意見をもつ。

展開

3. 共に学び合う

- ・ ペアやグループ、学級全体等での交流を通して、多様な考えや意見を知ること、自身の考えや意見を深める。

終末

4. 学習を振り返る

- ・ 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりする。

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける



- 1 本時のねらい
- 2 本時の流れ
- 3 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 4 授業づくりのポイント
- 5 まとめ



- ・教材に書かれた文章や資料から、その場面の状況や登場人物の思いを感じ取る姿。（ ）
- ・友だちとの交流を通して、物事を多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりする姿。（ ）
- ・交流を通して知った友だちの思いや考えを踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりすることで、これからの生き方に生かそうとする姿。（ ）



- 1 本時のねらい
- 2 本時の流れ
- 3 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 4 授業づくりのポイント
- 5 まとめ

「読み解く力」を高め、発揮している児童の3つの姿を目指すために



導入



主題に対する児童の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けを図る。

この前、困っている人がいたから話しかけたよ。



言葉が話せないから勇気が出ないな。

外国の方と関わる時どんなことに気を付けていますか。

顔見知りの人だったら話せるけど、知らない人には…



教材に書かれた文章や資料から、その場面の状況や登場人物の思いを感じ取るために



導入



教材の理解を深めたり、想像を膨らませるための教材との出会いを工夫する。



紙芝居のお話は
とても分かり
やすいなあ。

芳洲さんの仕事は
大変な仕事だったの
だなあ。



教材に書かれた文章や資料から、その場面の状況や登場人物の思いを感じ取るために



展開



道徳的価値を基に、児童の実態と教材の特質を押さえた発問を工夫する。

【発問1】

通信使を迎える準備をするために、人々に根気強く説明している芳洲は、どんなことを思ったでしょう。

朝鮮の文化や歴史、言葉などを学んだりしていない人々に対する芳洲の思いを考える。

【発問2】

通信使と日本人とのやりとりを聞いて、芳洲はどんなことを考えたでしょう。

国際理解、国際親善だけでなく、希望と勇気や思いやり・親切などとも関わっていることに気づく。

物事を多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりするために



展開



書く、発表する以外の、動作化や役割演技など表現活動を工夫する。

【発問1】

通信使を迎える準備をするために、人々に根気強く説明している芳洲は、どんなことを思ったでしょう。

「私は、朝鮮へ行ったことがないので、朝鮮の人が何を食べているのか、分かりません。どうしたらいいでしょう。」

町人役



芳洲役

「みなさんの真心を大切にしてください。いっしょにがんばりましょう。」
『困っている気持ちは分かります。みんなの知恵を出し合いましょう。』

物事を多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりするために



展開



子どもたちがお互いに考えを深めるための話し合いを工夫する。

【発問2】

通信使と日本人とのやりとりを聞いて、芳洲はどんなことを考えたでしょう。

相手の国のことを知って、笑うなんて、ちょっと失礼だな。



私が知っていることをもっとたくさんの人に知らせたい。

まだ知らないことがたくさんあるんだな。もっと知りたいな。

簡単な言葉でまとめてみましょう。



物事を多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりするために



展開



子どもたちがお互いに考えを深めるための話し合いを工夫する。



この子の意見、どういうことかな？もっと詳しく教えてほしいな。



小グループだと、たくさんの人の意見が聞けるね。いろいろな意見があるからおもしろい。



タブレットで友だちの考えを見ると私の意見とちょっと違う人もいるな。

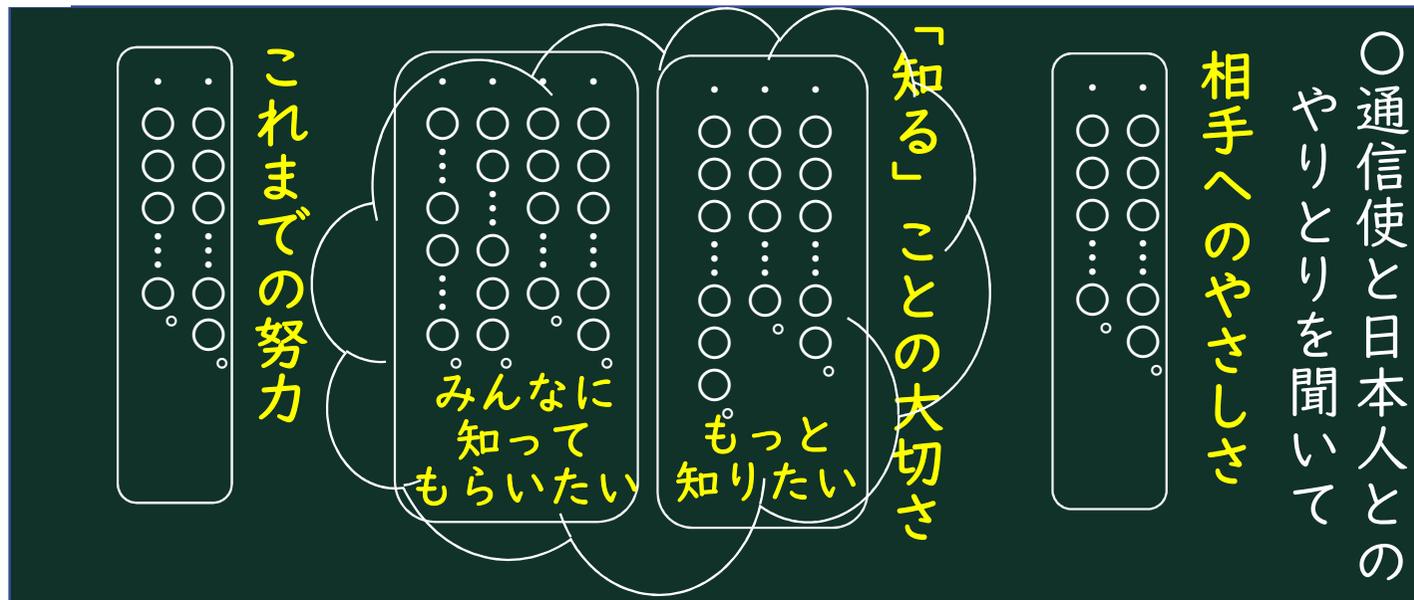
交流を通して知った友だちの思いや考えを踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりすることで、これからの生き方に生かそうとする姿。



展開



子どもたちの思考を深めるための板書を工夫する。



交流を通して知った友だちの思いや考えを踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりすることで、これからの生き方に生かそうとする姿。



終末



子どもたちの心情に訴える説話を工夫する。

私の国のことを質問してくれた時には、
日本ではどう？と同じ質問をします。
お互いに知ることが大切だと思っています。



相手の国の文化や習慣を尊敬する気持ち
が大切なんだな。

相手のことを知らない・分からない
時も、知りたい！知ろう！と努力
することが大事なんだな。





- 1 本時のねらい
- 2 本時の流れ
- 3 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 4 授業づくりのポイント
- 5 まとめ

【本時で身に付けたい資質・能力】

人種や国の違いをこえ、親愛の情をもって互いに温かい心で接したり、助け合ったりしようとする心情を育てる。



相手の国の文化や習慣を尊敬する気持ちが大切なんだな。

私が知っていることを、もっとたくさんの人に知らせたい。

相手の国のことを知って、笑うなんて、ちょっと失礼だな。

雨森芳洲さんの「真心のつきあい」ってどんなつきあいのだろう？

目的意識